



# 末田まさひこ 市政ニュース

No.35 2014.7.  
発行：日本共産党  
倉敷市議会議員団  
倉敷市西中新田 640  
TEL086-426-3767

庶民大増税に反対し、憲法を守りぬきます。

日本共産党倉敷市議会議員 末田 正彦 sueda@mx7.kct.ne.jp TEL086-470-0662 FAX086-470-0668

## 耐震シェルター・防災ベッド設置工事など 部分的な耐震改修工事、 補助制度実現へ検討始まる

木造住宅の部分耐震改修工事等の補助を行う市町村に対し、岡山県が助成を行なうことを決定したことから、倉敷市も補助制度の検討に入ることが6月議会で明らかになりました。それは、部分的な耐震改修工事、耐震シェルター設置工事、防災ベッド設置工事などに対して補助するというものです。

私は、2009年9月議会から6度にわたり、本年2月議会でもこの問題を取り上げ、実施を求めています。

南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループの「南海トラフ巨大地震対策について(最終報告)」では、建て替えがしにくい高齢者等の住宅について、避難用シェルターや防災ベッド等の利用促進とともに、部分的な耐震化による安全空間の確保、建築物の完全な倒壊を避ける対策等が提案されています。私は、2月議会で「地域防災計画の見直しに、住宅の部分

的な耐震改修等も取り入れるべき」と求めました。

写真の模型は、党市議団で品川区を訪れた時のもの。



の。「品川シェルター」と名付けられ、木材を格子に組み、一部屋ごと剛性を高める部分的な耐震補強です。

### フォト日記



4月13日 市政報告会(赤崎憩いの家)



5月1日 第85回倉敷地域メーデー集会

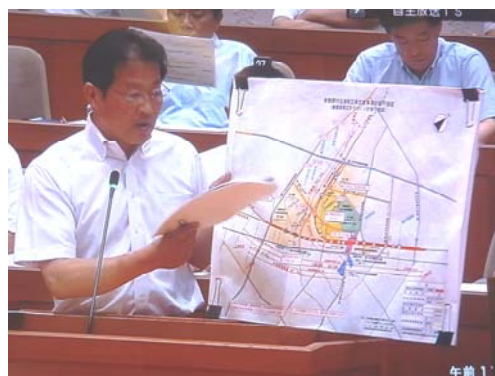
無料生活相談：毎月第1, 第3水曜日(公務等で日程変更の場合あり) 9:30~12:00 日本共産党児島後援会事務所にて  
その他の日も、お気軽にご連絡ください。TEL086-470-0662

# JR 倉敷駅付近連続立体交差事業 破たん明らか、県の「コスト縮減案」

**撤去可能な踏切 9か所 → 3か所(縮減案)**  
**通行可能な道路 24カ所 → 11カ所(縮減案)**

JR 倉敷駅付近連続立体交差事業をめぐり、岡山県が発表（4月15日）した「コスト縮減案」は、7.1Kmの高架化区間を最大1.15Km短縮し、事業費を61億円削減するという内容でした。しかし、「コスト縮減案」は、市が説明してきた鉄道高架事業の最大の効果を失わせることを、自ら証明したものとなりました。

撤去可能な踏切が9カ所から3カ所に、通行できる道路が24カ所から11カ所に大きく減少するというものです。事業効果はうすれ、倉敷駅南北の町づくりにも混乱をもたらします。JR 倉敷駅付近連続立体交差事業は撤退しかありません。改めて事業の中止を強く求めました。



6月12日 図面を示し質問する末田正彦議員

## 〔質問〕 鉄道高架化区間縮減案で費用対効果の減少は明らか

工事費縮減が最大となる検討案では、効果・便益の減少は、誰の目から見ても明らかではないか。鉄道高架は必要ないという結果が自然と導き出される。

## 〔答弁〕 縮減案に対する費用対効果は算出できる段階ではない

久本忠彦建設局長は、「県のコスト縮減案は、決定事項ではない。多角的な検討をしているところであり、費用対効果を算出できる段階ではない」と答弁。



5月25日 倉敷市立児島小学校運動会



5月25、26日 第17回議員の学校（東京都立川市）





はなちゃん、リラックス!

### ◇鉄道高架化区間縮減でどうなる? 倉敷地区都市拠点総合整備事業計画

**(質問) 各地域の均衡ある発展と連携による町全体の総合力の向上を目指すべき**

倉敷市都市計画マスタープランには、確かに倉敷市の“顔”となる広域拠点の強化と書かれている。しかし、その前提になるのは、各地域や地区の中心部と水島臨海工業地帯を拠点として位置づけ、それぞれの都市的機能、地域資源を積極的に生かした均衡ある発展、そして各拠点の連携による町全体としての総合力の向上を目指すこと。倉敷市中心部を“顔”と言ってしまうと、玉島、児島は、“手”か“足”かということになる。かつて、こうした議論がこの場でもあったと聞いている。旧倉敷地区は、人口で言えば19万人に過ぎない。48万都市の“顔”とか大きなことは言わずに、身の丈に合った都市整備計画を立てるべき。

**〈答弁〉 倉敷駅周辺については、倉敷市の“顔”となる広域拠点と位置づけている**

三宅研次建設局参与は、「現時点の駅周辺地区の土地利用、それから社会経済情勢などを踏まえながら、倉敷市の“顔”としてふさわしいまちづくりの計画を今後策定していきたいと考えている」と答弁。

### ◇JR 倉敷駅南口スロープの存続を



バリアフリー用スロープを視察する党市議団(6月25日)

**(質問) 倉敷市の責任でスロープ撤去を見直し、存続を求める**

このスロープは、JR 倉敷駅舎の自由通路を車椅子でも通行できるようにとの要望に応え、2006年9月議会で設置が決定し、以後7年間、駅舎南北の往来にとって欠かせない設備として利用されてきた。昨年2月議会でエレベーター設置と引きかえにスロープ撤去が決まった。この度、「倉敷駅南口スロープの存続を求める会」から、スロープの存続を求める請願が全会派の賛同を得て提出された。

**〈答弁〉 三宅建設局参与は、「利用者の安全対策等の観点からスロープの撤去が必要」との答弁を繰り返すばかり。共産党以外の会派は委員会審議の中で紹介議員を辞退し、反対。**



6月1日 第44回児島地区婦人バレーボール大会



6月22日 水島空襲の日、平和の鐘(水島緑地福田公園)

## 児島地区「安全・安心・快適」 まちづくり市民説明会開かれる



7月7日、児島市民交流センターで児島地区「安全・安心・快適」まちづくり市民説明会が開かれ参加しました。

児島市民病院（新病院）の病床数、診療科目、各階の診療・病床の配置計画、及び病院周辺エリアの道路・公園のバリアフリー計画などの説明が行われました。多くの市民が参加され、活発な意見が出されました。

「病院と病院南側の市道と公園を一体的に利用できないのか」「津波・高潮に対する対策・検討は十分なのか」「救急の受け入れ態勢を強化してもらいたい」など。



児島市民病院は、  
平成27年度建設  
着工、平成29年度  
中の開院を目指し  
ています。

## 若者を 戦争に送らない！

自公政権による「集団的自衛権行使容認」をめぐる、各地で「憲法を守れ」「海外で戦争する国にするな」と訴えています。



## この間の主な参加行事、活動です（4～6月）

- ・ 4/2 児島地区春の交通安全推進大会（郷内公民館）
- ・ 4/6 日本共産党児島後援会お花見（深山公園）
- ・ 4/7 倉敷市立短期大学入学式
- ・ 4/8 倉敷市議会文教委員会
- ・ 4/9 倉敷市立児島小学校入学式
- ・ 4/10 倉敷市立児島中学校入学式
- ・ 4/11 倉敷市立柳田幼稚園入園式
- ・ 4/13 市政報告会（赤崎憩いの家）
- ・ 4/17 倉敷市有功者表彰式
- ・ 4/19 市政報告会（児島市民交流センター）  
岡山県建築士会児島支部総会
- ・ 4/20 児島柳田町中地区町内会総会
- ・ 4/21～23 倉敷市議会議会運営委員会行政視察
- ・ 4/24 倉敷科学センター運営委員会
- ・ 4/25 岡山県土地家屋調査士会倉敷支部総会
- ・ 4/26 せんいのまち児島フェスティバル開会式  
市政報告会（稗田町第一ふれあい集会所）
- ・ 4/27 党児島後援会宣伝・署名行動（三白市会場）
- ・ 5/1 第85回倉敷地域メーデー集会
- ・ 5/10 2014 憲法記念県民集会（岡山県弁護士会）
- ・ 5/12 児島自治会連合会総会（児島ジーンズホール）  
岡山県自治体問題研究所理事会（岡山市勤福センター）
- ・ 5/13～15 倉敷市議会文教委員会行政視察
- ・ 5/17 児島婦人協議会総会（児島ジーンズホール）
- ・ 5/19 倉敷市議会文教委員会及び市内視察
- ・ 5/20 倉敷市議会児島会
- ・ 5/23 倉敷駅鉄道高架問題で岡山県に申し入れ
- ・ 5/24 倉敷市立児島小学校運動会
- ・ 5/25, 26 第17回議員の学校（立川市）
- ・ 5/27 備中地区社会教育委員連絡協議会総会（総社市）
- ・ 5/30 倉敷市議会議会運営委員会
- ・ 6/1 第44回児島地区婦人バレーボール大会開会式  
倉敷市児島地区子どもの日記念大会開会式
- ・ 6/2 党市議団6月議会前懇談会（倉敷労館）
- ・ 6/6 倉敷市議会6月定例会開会（6/24まで）
- ・ 6/7 マリン児島社会福祉協議会総会（鳥渡木公会堂）
- ・ 6/9 倉敷市議会本会議一般質問通告×切り
- ・ 6/12 末田正彦倉敷市議会一般質問登壇
- ・ 6/15 倉敷地方自治研究集会（くらしき健康福祉プラザ）
- ・ 6/20 倉敷市議会文教委員会
- ・ 6/22 平和の鐘（水島空襲の日）
- ・ 6/24 倉敷市議会6月定例会閉会
- ・ 6/29 党児島後援会宣伝・署名行動（三白市会場）

